

稲作だより

第3号

令和8年4月17日発行
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動
西村山農業技術普及課
TEL : 0237-86-8301

今後も高温が続く予報！ 苗の温度管理に細心の注意を！

健苗育成のポイント

1 育苗期の温度管理

- ・徒長苗は、活着、分けつが遅れるため、苗を伸ばしすぎないようにしましょう。
- ・気温の低い日や曇天の日でも、**少しの晴れ間でハウス内はすぐ高温**になります。**こまめな温度管理で苗のヤケや徒長を防ぎましょう。**

【育苗時の適切な温度と注意点】

| 生育期別の温度 | | 昼間 | 夜間 | 管理のポイント |
|------------------------|-------|--------------------|------|--|
| 出芽期 | 加温出芽 | 30～32℃：2日程度 | | ○無加温では、出芽が揃うように、保温資材を活用するなど、こまめな温度管理を行う。【高温障害に注意！】 |
| | 無加温出芽 | 日中：35℃以下 (約1週間) | | |
| 緑化期（1.0葉） (出芽後3日程度) | | 25～30℃ | 15℃ | ○外気温が25℃以上の日は要注意。 午前中の早い段階でハウスを開ける。 |
| 緑化期以降 | | 20～25℃ | 8℃以上 | ○翌朝に霜が予想される場合は、夕方の早い段階でハウスを閉める。 |

2 育苗期の水管理

- ・**かん水は十分な水量で早朝に1回が基本です。**
夕方のかん水は床土の温度が下がり、根張り不良となるため避けましょう。
- ・プール育苗の場合は、1.5葉期から入水（床土の高さまで）します。2葉期以降は、育苗箱の上1cm程度の水深で常時湛水とし、徒長を防ぐため、ハウス内温度を慣行より低めに管理します（5℃以下の低温・降霜予報の日以外は、昼夜ともにハウスを開放しましょう）。

3 育苗期の追肥

- ・適切に追肥を行い、苗の老化を防ぎましょう。
- ・育苗土に緩効性肥料（育苗一発肥料）を使用した場合は、追肥は不要です。

【追肥の時期と追肥量の目安】

| 苗の種類 | 育苗期間 | 追肥時期 | 施肥量(窒素成分量) |
|----------|---------------|-----------|------------|
| 稚苗（2.5葉） | 20～25日 | 1.8葉期 | 1g/箱 |
| 中苗（3.5葉） | 30～35日 | 1回目：2.0葉期 | |
| | | 2回目：3.0葉期 | |

「やまがた米づくりナビ」で適期作業！

適期作業カレンダー・
穂肥マップ・
刈取適期マップを
活用しましょう！







稲作だよりを
LINEで発信しています

※ID、パスワードは普及課までお問合せください

育苗期間中の病害対策

- ・病害を発生させないためには、温度管理やかん水を適切に行うことが大切です。
- ・カビの発生や生育異常が見られた場合は、普及課、JA に早めにご相談下さい。
- ・**万一ばか苗病が発生したら、移植前に抜き取りを行いましょう。**

| 病原菌 | 主な症状 | | 発生条件 | 発生抑制のポイント |
|----------------|--------------------------|---|------------------|-----------------------------------|
| フザリウム | 白色～淡紅色のカビが発生 |  | 緑化期の低温、湿度の変動が大きい | ○低温をさけ、適切な温度を保つ ○過湿にしない |
| ピシウム | カビは見えない。ムレ苗 2葉期頃に葉の萎凋症状 |  | | |
| リゾプス | 種子、芽の周辺に白いカビ、根の伸長停止、葉の黄化 |  | 出芽時の高温多湿 | ○33℃以上の高温、多湿にしない |
| トリコデルマ | 床土や糞の周辺に白色～青緑色のカビ |  | 水分不足 育苗土の低pH | ○33℃以上の高温、多湿にしない |
| 苗立枯細菌 もみ枯細菌 | 第2葉の葉身基部が黄白化枯死、坪枯れ |  | 高温、多湿 | ○高温多湿にしない ○発生した場合は 苗を処分 |

基肥施用・耕起のポイント

- ・下記の表を参考に、**圃場の地力に合わせて適量の施肥**を行いましょう。
- ・「つや姫」は食味・品質を優先し、玄米タンパクが高い場合は若干減肥しましょう。
- ・基肥一発肥料を用いる場合は、品種ごとの基準量（基肥+追肥）を超えないようにします。

【品種ごとの基肥施肥量の目安】

| 品種名 | はえぬき | つや姫 | 雪若丸 | コシヒカリ | ひとめぼれ | あきたこまち |
|----------------|------|-----|-----|-------|-------|--------|
| 窒素成分量 (kg/10a) | 5～6 | 3～4 | 4～6 | 3～4 | 4～5 | 5～6 |

- ・**作土深が浅いと根域が狭くなり、品質・収量が低下しやすくなります。**
登熟期の高温に負けない稲にするため、**15cm以上の作土深を確保**しましょう。
- ・耕起スピードが早く、作土深が浅くなっている例が見られます。
ゆっくり丁寧な耕起を心がけましょう。



STOP！農作業事故 トラクターの転落・転倒に注意！
春季農作業事故防止運動展開中（4/1～6/10）
農薬はラベルを読んで適正に使用しましょう！